



32号 令和6年6月13日

＜学校教育目標＞

自ら伸びる ともに伸びる

校長だより

呉市立阿賀小学校
安宗 誠



先輩たちのように・・・

本日の生活朝会で、阿賀中学生徒会執行部の皆さんがわざわざ来校してくれて、相手に気持ちの伝わる「挨拶(あいさつ)」の仕方について、示範を交えながら語ってくれました。先輩のお兄さんお姉さんのお話は、やはり特別なのでしょう。いつも静かに人の話が聞ける子どもたちですが、一層集中して聞いていました。阿賀中のお兄さんお姉さん、本当にありがとうございました。



「挨拶(あいさつ)について、私から阿賀っ子に伝えたいことは・・・。

「挨拶(あいさつ)」とは、そもそも「相手に心をひらく」「相手に向かう」というような意味。自分から進んで挨拶ができることが何より大切なのです。時には、相手から挨拶が返ってこなかったりすることがあるでしょう。でも、そのことにがっかりすることはありません。挨拶は相手から挨拶が返ってくることを期待してするものでもありません。挨拶は、つまり、自分の心の表れなので、結局、自分のためにしていると言っても過言ではないでしょう。ですから、自分から進んであいさつができればそれで十分です。自分から「相手に心をひらける」人は、人からも心を開いてもらえるようになるでしょう。

いつも私が皆さんに伝えているように、自分のしたことは回り回って必ず自分に返ってくるということです。

